

## 会社名 ビーブル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: 執行役 飛田留美子 TEL:03-3862-2768

## ◆売上高 前年対比

(金額単位:千円)

| 7月度(単月)             | 前期:2024年1月期 | 当期:2025年1月期 | 前年同月比 |
|---------------------|-------------|-------------|-------|
| 乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)  | 109,522     | 87,571      | 80.0% |
| メイキングトイカテゴリ(注2)     | 15,890      | 5,917       | 37.2% |
| その他(遊具・乗り物・育児等)(注3) | 14,336      | 10,380      | 72.4% |
| 海外販売・ロイヤリティ収入       | 473,301     | 21,325      | 4.5%  |
| 合計                  | 613,049     | 125,194     | 20.4% |

| 2~7月度(累積)           | 前期:2024年1月期 | 当期:2025年1月期 | 前年同期間比 |
|---------------------|-------------|-------------|--------|
| 乳児・知育・構成玩具カテゴリ(注1)  | 554,244     | 531,550     | 95.9%  |
| メイキングトイカテゴリ(注2)     | 73,815      | 13,286      | 18.0%  |
| その他(遊具・乗り物・育児等)(注3) | 190,709     | 75,916      | 39.8%  |
| 海外販売・ロイヤリティ収入       | 1,575,541   | 96,887      | 6.1%   |
| 合計                  | 2,394,309   | 717,639     | 30.0%  |

(注1)旧「乳児・知育玩具カテゴリ」。

(注2)2024年1月期はお人形シリーズ(ぼぼちゃんシリーズ)を含んでおります。

(注3)「その他」には2024年1月期まで別掲しておりました「屋内遊具・乗り物カテゴリ」を含んでおります。そのため、2024年1月期の数値も組み替えております。

## ◆7月度発売新商品・リニューアル商品

| 商品カテゴリ名     | 商品名                              | 標準小売価格(税込) |
|-------------|----------------------------------|------------|
| メイキングトイカテゴリ | 「ドリーミーDIYトイ ねじハピステッキドライバーDIYセット」 | ¥3,850     |
|             | 「ドリーミーDIYトイ ねじハピグランドハウスDIYセット」   | ¥6,600     |

## ◆7月度および直近TOPICS

●乳児・知育・構成玩具カテゴリは、構成玩具(ピタゴラスシリーズ)が引き続き好調な売上を保ちつつも、カテゴリ全体では低迷が続く市場の影響を受けております。

●メイキングトイカテゴリのドリーミーDIYトイ ねじハピシリーズにおいて、新商品を発売しました。

## 【新発売商品】

「ドリーミーDIYトイねじハピステッキドライバーDIYセット」



「ドリーミーDIYトイねじハピグランドハウスDIYセット」



## ●直近のメディア掲載情報

・【プレスリリース】AIC国際学院京都初等部とNIE(全国新聞大会)にて、「おもちゃとジェンダー」実践発表しました。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000200.000045493.html>

・【WEB】大阪産業創造館での弊社代表・桐淵の講演録が公開されました。 <https://bplatz.sansokan.jp/archives/15842>

・【WEB】「ヒントポット」にてビーブルの働き方についての記事が掲載されました。 <https://hint-pot.jp/archives/222988>

当社は現在、収益性の低いカテゴリを終了させ、2026年1月期の「好奇心事業」ローンチにリソースを集中し、再び成長路線に入る計画の途上にあります。

そのため、お人形ぼぼちゃんや自転車、これら商品の製造販売を終了させたこと、また米国向け「Magna-Tiles」の販売契約が変更になったこと(※)により、当期は一時的に業績が下がることを見据えながら、2026年1月期の新事業スタートまでの短期的対策として、下記の優先順序で施策を行います。

- (1)収益性の高い、ピタゴラス、ねじハピ、やりたい放題の主力3商品にリソースを絞り、粗利益率を確保しつつ売上を確保
- (2)アジアを中心とした新たな海外販路の確保
- (3)ドラステックな経費削減

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 <https://note.com/people.pr>

(※)米国向け「Magna-Tiles」の販売契約変更について

これまでの当社がディストリビューターから受注した商品をOEM販売する形態から、ディストリビューターが工場と直接取引をする傍ら当社はロイヤリティ収入を得る形態へ変更となりました。

この変更により、当該売上高はこれまでより大幅に減少するものの、社内の人的リソースを使わずにロイヤリティという形での収益が得られることとなります。

## (ご参考)業績予想(2024年8月30日公表)

2025年1月期第3四半期(2024年1月21日~2024年10月20日)業績予想

|        | 2025年1月期第3四半期<br>業績予想<br>(百万円) | 前年同期間比(%) |
|--------|--------------------------------|-----------|
| 売上高    | 1,249                          | 28.4      |
| 営業利益   | △179                           | -         |
| 経常利益   | △176                           | -         |
| 四半期純利益 | △183                           | -         |